

令和4年度 事業報告書 (成果説明書)

【期間 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日】



※鳥羽市社会福祉協議会は、令和4年5月に三重県 SDGs 推進パートナー認定事業所として認証されました。

社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会

目 次

1	経過報告	P1
2	役員会等組織運営	P2～4
3	法人運営事業	P4～6
4	福祉サービス利用支援事業	P6～7
5	高齢者福祉事業	P7～9
6	障がい者福祉事業	P9～11
7	低所得者等対象事業	P11～12
8	地域福祉活動推進事業	P12～19
9	総合相談事業	P19
10	ボランティア活動支援事業	P19～22
11	民生委員児童委員活動	P22



令和4年度社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会経過報告

当会では、令和3年度からSDGsについて学習会を開催し、4年度は、『ともに生きる豊かな地域社会』の実現・誰一人取り残さない社会の実現を目指して地域福祉活動に取り組んできました。

しかし、全国的に高齢化、少子化が進み、2025年には、65歳以上人口が3,677万人となり、2042年には、ピークを迎える(3,935万人)という人口動態予想が出ています。鳥羽市でも高齢化が進み、2月末日で65歳以上の高齢者が6,920名となり、全人口の40.4%を占めています。4年度は、当会の高齢者支援の中で、独居高齢者の金銭管理や、財産管理(成年後見事業)、独居高齢者の在宅での体調不良による急な支援等、高齢化による支援の不足が目に見えて現れて来た年度でした。

法人としては、ゆめばーの事業終了に伴い事業の統合、備品等の整理を行い、職員総勢23名と、ゆめばーの閉所に伴い登録職員も含め多くの職員がひだまりにて勤務する事となりました。職場の労働環境面、精神衛生の点からこれからも市と相談をしながら働きやすい環境をめざして業務に当たります。

また、職員のメンタルヘルスや、ハラスメントにつきましては、介護労働安定センターとの連携による中堅職員研修を行いました。職員に対しては、個人面談と、専門職によるカウンセリングを行い精神衛生面の向上に努めました。

地域福祉においては、民生委員の成り手が少ない中で、民生委員活動の支援や、小地域(自治会単位)のコミュニティ作りの支援を行いました。あらたに学校運営協議会への支援等地域支援についても検討し、5年度事業にもつなげています。

地域高齢者、要支援者の支援においては、訪問入浴、ほっとスマイルサービスの充実等について、さらなる支援の工夫、支援者の開拓等を検討しました。しかし、地域支援における支援者を増やす事が難しく、今後の課題と言えます。

高齢者、障がい者の権利擁護支援においては、当事者の自己決定支援を念頭におきながら法人後見事業の運用も2年目にして4件の利用者、日常生活自立支援事業においても30名前後の利用があり、地域で暮らす一助を担わせていただいています。

島内、船内介助事業においても当会で市内介護保険事業所の担えない部分を支援させて頂いています。今後介助員の不足等事業運営の為、市との話し合いがますます重要となっており、5年度も介護保険事業所と連携しながら事業運営を継続しながら行います。

また障がい者の支援においては、生活介護の事業終了により、「日中一時支援事業いたずらっこ」の場所を移動して事業もスムーズに運用しており、今後の展開について5年度で障害者福祉計画の中でも検討し、進めていきたいと思えます。

社協のBCP(事業継続計画)については、地震災害も多発している事から、BCP(事業継続計画)の見直し、社協が被災した際の事業継続について災害時集合場所の再検討と、災害ボランティアセンター運営までを検討して行く事が必要となります。

令和5年度については、経営面においても事業積み立てを崩す事なく事業を行う事になりますが、経営面が安定してきてからこそこれからの社協の真価が問われることとなります。事業の再整理を行い、今後社協として地域福祉を推進して行く意義についてより検討しながら事業を展開して行きます。

1 法人運営事業 役員会等組織運営 (総務係)



- 目標 ①地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに実施して行くため、理事会、評議員会などを中心として、法人運営の強化を図ります。
- ②当会事業の健全経営や、透明性を図るため、監事による監事監査を実施します。
- ③組織機構の再編や、収支による事業内容、体制を見直し、収支バランスの良い経営を行います。
- ④三重県SDGs推進パートナー認定事業所として、リサイクルや、エコ活動に努めます。

(1) 理事会の開催

開催日	議 事	開催場所
(第1回) 令和4年6月10日	1 令和3年度事業報告(案)について 2 令和3年度収支決算(案)について 3 評議員の選任候補者の推薦について 4 理事の選任候補者の推薦について 5 定時評議員会の招集について	保健福祉センターひだまり 1階 和室
(第2回) 令和4年6月28日	1 会長・副会長の選任について	保健福祉センターひだまり 1階 和室
(第3回) 令和5年1月19日	1 諸規程の制定及び改正(案)について 2 独居高齢者地域福祉事業基金の創設及び運営規程の制定(案)について 3 経理規程の一部改正(案)について 4 評議員会の招集について	保健福祉センターひだまり 1階 和室
(第4回) 令和5年2月13日 (書面議決)	1 独居高齢者地域福祉事業基金の設置、管理及び処分に関する規程(案)の1部改正案について	(書面議決)
(第5回) 令和5年3月23日	1 令和4年度収支補正予算(案)について 2 鳥羽市障がい者福祉センターゆめばーるの生活介護事業廃止等による鳥羽市への施設譲渡の承認について 3 令和5年度事業計画(案)について 4 令和5年度収支予算(案)について 5 評議員会の招集について	保健福祉センターひだまり 1階 会議室

(2) 評議員会の開催

開催日	議 事	開催場所
(第1回) 令和4年6月28日	1 令和3年度事業報告(案)について 2 令和3年度収支決算(案)について 3 理事の選任について	保健福祉センターひだまり 1階 和室
(第2回) 令和5年1月19日	1 独居高齢者地域福祉事業基金の創設について	保健福祉センターひだまり 1階 和室
(第3回) 令和5年3月27日	1 令和4年度収支補正予算(案)について 2 鳥羽市障がい者福祉センターゆめぱーるの生活介護事業廃止等による鳥羽市への施設譲渡の承認について 3 令和5年度事業計画(案)について 4 令和5年度収支予算(案)について	保健福祉センターひだまり 2階ひだまりホール

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議 事	開催場所
(第1回) 令和4年6月17日 (書面決議)	1 評議員の選任について	

(4) 監事監査の開催

開催日	議 事	開催場所
令和4年5月31日	1 令和3年度業務執行状況及び財産の状況等に係る監査について	保健福祉センターひだまり 1階相談室

(5) 鳥羽市共同募金委員会運営委員会

開催日	議 事	開催場所
令和4年9月9日	(報告事項) 令和3年度共同募金運動の成果と配分について 1 鳥羽市共同募金委員会運営委員・監事の選任について 2 鳥羽市共同募金委員会会長・副会長の選任について 3 令和3年度鳥羽市共同募金委員会収支決算(案)について 4 令和4年度鳥羽市共同募金委員会収支予算(案)について 5 令和4年度共同募金運動の実施要綱ならびに目標額について 6 街頭募金の実施について	保健福祉センターひだまり 1階和室

評価 令和4年度は赤尾会長が会長を辞任され、役員交代があり副会長であった中村幸照氏が会長、山本英子氏が副会長に選任されました。また、理事会・評議員会では令和4年度で生活介護事業の廃止、故人の方による寄付金等についてが主な議題となりました。

6月に役員改選があり、また新たに就任する方も見えますので職員と一緒に地域福祉についてや社協の役割についての研修会を行いたいと思います。

経営につきましては引き続き経費の見直し、事業の効率化を行い経営の安定化を図っていきます。また、行政とは密接に情報交換を行い、必要な補助や予算を頂けるように交渉します。

さらに、社協の部屋の移転につきましても引き続き交渉を進めていきます。

2 法人運営事業 会員サービス事業 (総務係)

(1) 会費等について

① 会員の募集について

町内(自治)会等に協力をいただき、個人会員会費1口500円をお願いするとともに、市内の事業所に特別会員(法人)会費1口5,000円をお願いし協力を得ることができました。

会費の推移

(単位：円)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人会員	1,898,200	1,820,000	1,795,250	1,684,200	1,614,800
特別会員	445,000	402,000	447,000	495,000	481,000
合計	2,343,200	2,222,000	2,242,250	2,179,200	2,095,800

② 主な使いみち

- 地域福祉推進員活動助成 (内容等P17)
- 市内小・中学校に対する福祉教育推進助成 (内容等P20)
- 広報紙(福祉ウエーブ)の発行

当会の福祉サービス内容や福祉情報などを市民に啓発するため、広報紙(福祉ウエーブ)を6回発行しました。

- ふれあいいいきいきサロン活動の一部助成
- ひだまりフェスタの開催経費の一部※今年度は中止
- 福祉機器等の無料貸出

病気や怪我等により一時的に貸し出す車いす等の福祉機器や、地域活動等に活用していただくわた菓子機、ポップコーン機等のレクリエーション用具の無料貸出を行い、地域生活等の支援に努めました。

(単位：件数)

	車いす	その他福祉機器	ポップコーン機	わた菓子機	その他のレク用具	高齢者疑似体験用具
貸出件数	67	3	8	5	45	1

評価 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、今年度はふれあいいいきいきサロンも休止を行う所も少なく、例年通り助成を行いました。

ひだまりフェスタは、今年度も開催を見送りフェスタの内容を検討する会議を開催しました。会費についてはここ数年、減額が続いていますので、周知啓発に努めたいと思います。

(2) 共同募金及び配分金事業

① 募金額実績

(単位：円)

種 類	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般募金	2,119,200	2,124,190	2,234,197	2,119,954	2,001,881
歳末募金	22,040	19,381	0	0	0
合 計	2,141,240	2,143,571	2,234,197	2,119,954	2,001,881

② 当会への配分金（一般募金は令和3年度募金額に対する配分金及び2年度繰り越し分）

○ 一般募金 1,905,217円

③ 主な使いみち

○ 各種団体への活動助成

・ ボランティア団体活動助成

(福祉奉仕団体はまゆう会、点訳・朗読奉仕グループつものぶえ、子育て応援!!0,1,2,3サークル)

・ 鳥羽市視覚障害者福祉会活動助成

・ 鳥羽市老人クラブ連合会活動助成

・ 市内小・中学校に対する福祉教育推進助成（内容等P20）

・ ふれあいいいきサロン活動助成（内容P13）

○ 事業費に割り当てたもの

・ 高齢者無料マッサージ事業費（内容等P8）（新型コロナウイルスで中止）

(3) 公用車有料広告事業

当会の収益基盤の構築と、地元の活性化をめざし、当会の公用車に地元事業所のマグネットシートを作成し、事業広報するものです（年額48,000円）。

令和4年度は実績0件でした。周知啓発に努めます。

(4) 衛生推進者を中心とした職員の健康管理、メンタルヘルスの向上

介護労働安定センターとの連携を行い職員のメンタルヘルス相談の定期的な開催、令和4年度は9月に中間管理職のメンタルヘルス研修、12月にハラスメント研修を行いました。

評価 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染対策を徹底し募金活動を行いました。

今年度は共同募金の配分金についての監査がありました。指摘改善事項としましては、

- ・ 広く周知を行う事
- ・ 新たな助成団体への配分の検討
- ・ 配分要項、配分委員会等の検討
- ・ 助成金の中身の精査

上記のような事が指摘事項としてありましたので、令和5年度につきましては、ホームページ、福祉ウェブにて広く周知を行います。さらに申請団体については事業の中身の精査を行い、使途要件に合った配分を行っていきます。

(3) ひだまりフェスタの開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、鳥羽市においてもイベント自粛が見られ、令和4年度のひだまりフェスタも、中止となりました。

評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりましたが、運営委員会を開催し、今後の活動についての協議を行いました。令和5年度は、「地域共生社会社会づくり」をキーワードにしたフェスティバルとして新たに開催する予定です。

(4) 広報活動の推進

広報誌や、ホームページを活用して当会の役割や、活動などの情報提供、発信に努めました。ブログを活用し、寄付や、寄贈についてタイムリーな情報報告を行い、事業の状況を市民の皆様へ報告をさせていただいています。

鳥羽市社会福祉協議会ホームページ、ブログ (<http://www.toba-shakyo.or.jp/>)

評価 当会の事業及び活動を幅広い世代により詳しく、タイムリーに情報発信を行いました。ホームページは広報誌に次ぐ当会の重要な情報発信手段であることから、引き続き内容を吟味し、市民の皆様の意見を取り入れ運営を行います。

3 福祉サービス利用支援事業 (福祉推進係)

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



(1) 在宅介護支援センター事業

在宅の要介護高齢者や要介護となるおそれのある高齢者等に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるように市やサービス実施機関等との連絡調整を行い、高齢者福祉の向上に努めました。

(2) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の推進

認知症高齢者、知的・精神障がい者などで判断能力が十分ではない方に、個人の尊厳を守りながら、地域で安心して自立した生活が送れるよう「福祉サービスの利用援助」や「日常的金銭管理」、「書類等預かり」等の援助サービスを行いました。

専門員2名、生活支援員9名を配置し支援を行っています。

相談内容も深刻化、複雑化していることから、資質の向上を目指した研修会の開催や、支援体制の充実を図るため生活支援員の増強に努めました。

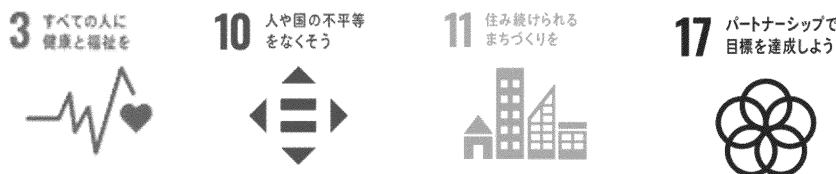
【年度別契約者数・支援回数】

(単位：人・回数)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
契約者数	32	30	36	35	30
支援回数	654	588	449	404	350

評価 地域のニーズにより、支援を行っており、地域の要支援者を支える重要なサービスとなっています。成年後見サポートセンター事業とも連携し、この事業での支援が難しい方についても弁護士や、司法書士等の職能集団との連携をはかり支援していきます。

(3) 成年後見サポートセンター事業



令和3年10月より、鳥羽市から成年後見サポートセンター事業を受託し、「鳥羽市成年後見サポートセンターぬくもり」を開設しています。ぬくもりでは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分になり、自分一人では契約や財産の管理などをすることが難しい方の権利を守り、住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度に関する相談支援や情報提供を行っています。

また、協議会において制度利用促進等の議題について協議意見し、委員会では弁護士等の専門職より困難事例や支援の方向性について助言を得る機会を設けています。令和4年度は協議会を2回、委員会を4回開催しました。

受託事業以外に法人として後見業務を行い、令和4年度は4件受任しました。

4 高齢者福祉事業 (在宅福祉係、総務係)



①訪問入浴事業

家庭において、入浴することが困難な要介護者に対して、訪問入浴のサービスを提供しました。

【年度別介護保険収入・延べ利用者数】 (単位：千円・人)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険収入	448	2,052	4,159	4,361	3,141
延べ利用者数	42	153	284	288	192

評価 訪問入浴事業は、本土、離島のねたきりの高齢者、重度障がい者の入浴支援のため、当会が主に離島地区の訪問入浴を担っています。令和3年度は市から受託事業として4,983千円の補助を受け、介護保険収入と併せて運営を行いましたが、令和4年度は介護保険収入のみで運営しました。利用者の増加を図り、効率的な運営を図っていきます。今後も離島の在宅福祉を担うべく市と協議をしながら事業を行います。

②居宅介護支援事業

ケアプランの作成・訪問調査等、要介護者や家族の立場に視点をおいて、地域に密着した支援事業を実施しました。

【年度別介護保険収入・延べ利用者数】

(単位：千円・人)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険収入	31,943	29,759	26,247	1,743	3,703
延べ利用者数	1,925	1,795	1,630	128	293

評価 3年度から職員体制を変更して事業を実施しています。今後も鳥羽市と相談しながら、利用者の増加を図り、収入の安定を図っていきます。

(2) 鳥羽市老人クラブ連合会（パールライフ鳥羽）活動支援事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な事業や、研修会が中止になりましたが、活動支援もあまりできませんでしたが、5年度も継続して活動へのアドバイス、支援を行います。

評価 パールライフ鳥羽については、今後の地域福祉事業を担う組織として支援を行います。4年度も、方言カルタ作成においてパールライフ鳥羽のみなさんに協力を得て平成5年度には、完成予定となっております。方言カルタを利用した異世代交流事業等を開催予定です。

(3) 高齢者無料マッサージ事業

ボランティアグループ「療友会」の協力により、高齢者の健康維持・増進を図ることを目的として、無料マッサージ事業を毎年開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため令和4年度も中止となりました。

(4) 市補助・受託事業

①離島在住高齢者等通所サービス支援事業（受託事業）

離島の介護保険利用者の通所介護・通所リハビリテーション等、利用時の送迎支援を行うため、外出支援協力員を配置し通所時の船内及び島内の安全確保に努めました。

- ・ 令和5年3月末の地域別利用者数

(菅島町4名、答志町3名、桃取町4名、坂手町6名)

【年度別延べ利用者数】

(単位：人)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	2,108	1,878	1,649	1,895	1,543

評価 利用者の推移においては、減少傾向にありますが、離島居住者にとってこのサービスは本土の介護サービスへの懸け橋であるため、大変重要な事業となっています。4年度は、毎日利用の方が都合で利用できなかったこともあり、利用数が減りました。また、利用者数は、減ったのですが、介助員が少ないため、人員調整が難しく、都合がつかない場合は、職員が対応するケースがありました。今後の課題です。引き続きこの事業の在り方について市と協議が必要と考えます。

②生きがい活動デイサービス事業（受託事業）

比較的家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、高齢者の健康・生きがいづくり、介護予防を目的とした趣味創作デイサービス事業を実施しました。

【年度別延べ利用者数】

（単位：人）

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
しおさい	3,857	3,890	3,881	3,315	2,282

評価 しおさいの利用者に減少が見られます。要因を検討し、しおさいの運営について協議を行います。ひだまりの生きがい活動デイサービス事業については、自主活動の場所となりましたが、今後も鳥羽市の高齢者活動の場所としてひだまりの有効活用や、地域の触れ合いの場所作りについて行政や、地域へ社協から提案を行っていきます。

5 障がい者福祉事業（在宅福祉係、福祉推進係）



(1) 障害者総合支援事業

①生活介護事業（ゆめぱーる）

生活介護事業は障害支援区分3以上の方を対象に、通所により日常生活上の支援（入浴、排せつ、食事介助）創作活動、身体能力・日常生活能力の維持・向上を目的とし必要な介護を提供しています。

【年度別自立支援費収入・年度別延べ利用者数】

（単位：千円・人）

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自立支援費収入	29,703	23,871	15,719	9,498	7,471
延べ利用者数	2,362	2,138	1,183	669	509

評価 4年度末にて生活介護事業が終了となりました。4年度は、利用者に対して代替サービスへの移行についての支援や、施設を市へ譲渡するための清掃活動、事務処理を行いました。

利用者のみなさんも代替事業所へ移行する事ができました。

(2) 市受託事業

① 地域活動支援センター（身体障がい者デイサービス）事業

在宅の障がい者の方を対象として、その能力・適性に応じ自立した日常生活・社会生活を営むことが出来るよう創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、日中における活動の場の確保等便宜を提供することにより、地域での生活支援に寄与することを目的に実施する事業です。

【年度別延べ利用者数】

(単位：人)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	31	18	11	0	0

評価 ゆめばー施設での事業が終了したため、当会での地域活動支援センター事業も、今年度で終了となりました。

② 日中一時支援（児童デイサービス）事業「いたずらっこ」

障がいのある小・中・高生を対象に、放課後や長期休暇中の活動の場を確保するとともに、障がい児を持つ親の就労支援と日常的にケアしている家族の一時的な休息に寄与することを目的に事業を実施しました。また、児童の情緒発達や交流を促すことを目的に交流イベントなどの活動を実施しました。

【年度別延べ利用者数】

(単位：人)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	1,029	1,091	945	663	565

評価 令和4年度末でのゆめばー閉鎖に伴い、令和4年3月13日よりひだまり和室で事業再開しています。学校を卒業し他事業所へ移行した方や、進学の為利用中止した方もおり、前年度より利用回数が減っています。

③ 相談支援事業（計画相談支援・障がい児相談支援含む）

障がいの種別を問わず、在宅や地域で暮らす障がいのある方とそのご家族のための一時相談、計画相談を行いました。障がいのある人が地域で安心して充実した生活が送れるような社会の実現を目指し、ニーズに応じたサービス等の利用計画、就労、日中活動、将来への不安、病気や生活、心配ごとなど様々な相談に応じ、必要な福祉サービスの情報提供や関係機関との連絡調整を実施しました。

【年度別延べ利用者数・相談件数】

(単位：人・件数)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	228	219	236	230	219
相談件数	2,445	2,777	2,439	1,627	1,351

評価 計画相談利用者数については、引き続き1～2名での相談対応期間が長かったため、相談対応において十分に対応できなかった期間があり、収入が減少しました。5年度は、1名の増員と兼務職員の配置をはかり、市や、他市町のスーパーバイザーから運営アドバイスを受けながら障がい者支援を行います。

(3) 障がい者の日記念事業の開催



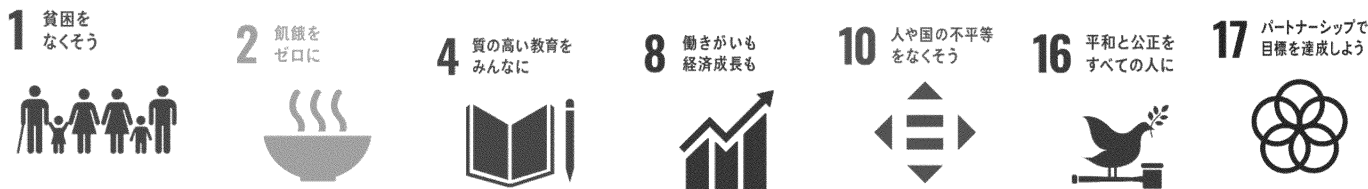
障害者互助会、市（健康福祉課、市民課市民交流室）、保健福祉関係団体等との連携のもと、障がい者福祉についての理解と関心を深めるため「障がい者の日」記念事業として「ひだまりふれあい広場」を毎年開催しています。4年度は、「多様な性～家族の願い～」をテーマに LGBTQ+についての理解や現況について講習をしていただきました。また、下記の期間鳥羽市地域自立支援協議会施設の作品展覧会をひだまりにて開催しました。

開催日：令和4年12月3日（土）～12月16日（金）

開催場所：保健福祉センターひだまり 1階ロビー

評価 講演会自体は、50名の方に参加いただき LGBTQ+等のマイノリティ支援など、今後とも啓発の在り方について考え人権について考える場所を提供して行きます。

6 低所得者等対象事業（福祉推進係）



(1) 生活困窮者自立支援事業

鳥羽市より受託し生活困窮者自立支援事業相談窓口として「暮らし相談支援センターとば」を開設しています。各関係団体へ事業説明、パンフレット配布を行い、市民に向けて「広報とば」や福祉ウェブに記事を掲載し、周知啓発を行いました。

相談内容により、生活再建のためのプランを策定し、就労支援や家計相談支援など継続的に支援を行いました。

(単位：件数)

新規相談受付件数	プラン作成数
58	24

また、鳥羽市より、子どもの学習支援事業「Yell」を受託しています。対象は市内在住の小学4年生～中学3年生のうち、ひとり親・就学援助対象・生活保護・生活困窮者世帯の子ども達で、安心して過ごしながら学ぶことができる場所を提供し、学力向上と

居場所づくりを目的としてひだまりで週1回学習支援事業を開催しました。

学習支援ボランティアが児童に寄り添い、自分のペースで安心して学習ができるようにサポートを行いました。

コロナウイルス感染症の状況に応じ「夏休みの宿題はやめにかたづけちゃお」「ぷちクリスマス会」「卒業・進級おめでとう会」などを実施した。

(単位：人)

利用者	学習支援ボランティア（講師）
登録23（延べ503）	登録18（延べ369）

(2) 一時生活支援事業

住居のないもしくは、住居を失うおそれのある生活困窮者であって、一定期間内に限り宿泊場所の供与、衣食住の提供及び住居の確保の支援を行い、令和4年度は2名の利用がありました。また、令和5年度は更に1部屋追加し、2部屋体制で運営します。

(3) 生活困窮者への貸付事業

・生活福祉資金貸付事業

三重県社会福祉協議会が所管する低所得者貸付制度で、大別すると総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の4種類があり、貸付申請に係る窓口業務を行いました。

令和5年3月末現在の貸付件数は14件で、うちコロナ特例貸し付けの件数は13件でした。

・法外援護資金等貸付事業（限度額5万円）

当会の自主的な福祉資金貸付制度で、令和4年度は、生活福祉資金貸付事業の利用等により、法外援護資金等貸付金の利用はありませんでした。

評価 今年度は9月末に新型コロナウイルス特例貸付の受付が終了し、貸付金償還が開始されたことに伴い、償還方法や免除・猶予申請に関する問い合わせが多くありました。今後も生活状況に応じて面談等を行い、生活困窮者に対する支援を継続していきます。

7 地域福祉活動推進事業

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



(1) 第3期鳥羽市地域福祉活動計画の策定について

令和2年度からの5カ年計画「第3次鳥羽市地域福祉計画、第3期鳥羽市地域福祉活動計画」の進捗管理を行うため「鳥羽市地域福祉計画及び活動計画策定委員会」（19名）を設置し、令和4年度は、3年目の進捗状況について推進委員へ市、社協職員が進

捗状況を書面にまとめて報告し、意見交換会を開催しました。

開催日	事業内容	開催場所	参加委員数
3月2日	地域福祉計画・活動計画推進委員会	ひだまりホール	13名

評価 健康福祉課と連携して開催し、皇學館大学の井智香子先生よりご指導を受けて各委員から計画の評価や、今後の活動に向けての意見を頂きました。

委員会開催の中で出た委員の意見を取り入れて次年度以降の計画運営を行います。

(2) ふれあいいきいきサロン事業



高齢者や子育て中の母親などが身近な地域で交流し、仲間づくりや健康づくりを行うため、地域住民との連携・協働によりサロン事業を実施しました。

(単位：設置数・回数・人)

サロン名	設置数	開催回数	延べ参加人数
高齢者サロン	37 (35)	627	6,420
子育てサロン	3 (3)	51	461

※カッコ内は前年度実績

評価 コロナ禍でもどうすれば安心安全にサロンが開催できるか、スタッフの方達はコロナに向き合いながら集いの場を必要とされている住民の方の為に開催ができる様、努力してくださいました。令和4年度は脳トレプリント集『#イキイキ便』を発行しました。皆様に喜んで頂き、追加を頼まれる所もありました。備品の貸し出しでは、ポッチャが1番人気で離島からの貸し出しもあり、楽しんでいただけました。

(3) 地域力強化推進事業



令和元年度より、鳥羽市から地域力強化推進事業を受託し、「地域共生社会の実現」を目指して、2名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の福祉課題や、困りごとの解決を行っています。

今年度、46地区すべてのまちのカルテが完成しました。まちのカルテ46地区全てで完成はしましたが、今年度もカルテにまちの最新情報を掲載するため46地区全てに連絡を取

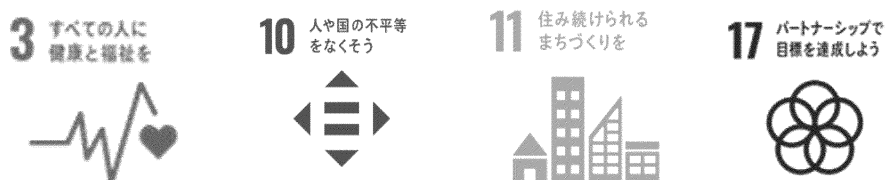
りました。

まちトーク（福祉懇談会）については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら7地区で開催しました。今年度は、まちトークを1地区1回のみで開催にならず、課題解決に向けて2回目を開催した地区もありました。また、学校でもフクシルを通して依頼があり、神島中学校で開催しました。

総合相談では、総合相談のチラシを作成し、市内事業所、サロン等に周知を図り、サロンがない地区2箇所、総合相談を受けとめる場「まるごとカフェ」を開催しました。まるごとカフェの内容を1地区では、市の防災危機管理室とも連携し、防災の相談会と総合相談会を行いました。また、町内会、地域へ出向いている中、獣害が増えているという声が多く寄せられたため、地域づくり講演会では獣害研究家を招き講演を行いました。単なる獣害対策だけでなく、日頃からのコミュニケーションの大切さ、女性が活躍する地域には、笑顔が溢れ、元気になるという講演をしていただきました。講演会を開催するにあたり、鳥羽市健康福祉課、農水商工課とも連携しました。

評価 昨年度とは違い、新型コロナウイルスの状況をみながら、まちトークを開催することが出来た地区がありました。今まで1度きりで終わっていたまちトークが、課題解決に向けて複数回開催を提案し、出来た地区もありました。今年度は、町内会だけにとどまらず、各種団体、圏域等にもまちトークの提案を行っていきます。まちのカルテについては、元年から発行を始めたが、令和4年度に全町内会46地区で発行することが出来ました。また、事業を行っていく中で、他機関、関係機関との連携を図ることが出来ました。令和5年度も引き続き、他機関、関係機関と連携を図り、事業を進めていきたいと思えます。

(4) 参加支援・ひきこもりサポート事業（受託事業）「さんぽみち」



ひきこもりの方で、解決方法や相談先がわからず悩んでいる方、また自宅中心の生活が長期化することによって、社会的孤立や将来的に介護問題や経済的困窮が生じ、問題が深刻化する可能性のある方を対象に事業を実施しました。

社会参加支援、ひきこもりサポートとして安心できる居場所を提供し、社会とつながることを目的とし、ひだまりにてさんぽみちカフェを開催しました（毎月開催）。また、池上町の裏萩山市営住宅の一室を借り受け、高齢者、一人暮らしで孤独を感じている方やひきこもりの方など、どなたでも集える居場所スペースを整備し提供しました。（毎月第1、第3火曜日開催）ひきこもり者を抱えた家族の会の開催、（令和4年5月～毎月第3木曜日開催）ZOOMを使用した居場所である、さんぽみちEルーム（令和4年11月～毎月1回不定期開催）を実施しています。

居場所延べ利用者数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度
さんぽみちカフェ	16	64
裏萩山さんぽみちカフェ	-	113
さんぽみち家族の会	-	36
さんぽみちE-ルーム	-	13

新規相談件数 (単位：件数)

	令和2年度(10月～)	令和3年度	令和4年度
参加支援	6	9	10
ひきこもりサポート	9	10	7

支援対応件数 (単位：件数)

	令和2年度(10月～)	令和3年度	令和4年度
相談支援件数	122	385	962
地域共生ケース会議	28	39	11
さんぽみち会議	17	90	142

就労・交流体験受入事業所 (単位：件数)

登録事業所	46	令和4年度新規	10
-------	----	---------	----

本事業の周知活動

開催日	内 容
6月24日	福祉協力校会議
7月11日	自治体連合会福祉部会
7月29日	鳥羽地区民児協圏域会議
9月6日	安楽島地区民児協圏域会議
9月12日	加茂地区民児協圏域会議
9月12日	長岡・鏡浦地区民児協圏域会議
12月1日	民児協総会
1月23日	民児協新任研修会
3月3日	民児協総会

(5) マイノリティへの支援と社会参加の推進、少数課題への対応

10 人や国の不平等
をなくそう



4年度も、新型コロナウイルスの蔓延により、外国人住民が当会に相談に来館しました。鳥羽市に住む外国人に対しての生活困窮支援を行いました。

また、地域から動物の多頭飼育問題、放置猫問題などが上がってきており、環境

課などと共に相談対応に当たりました。

評価 相談のあった対象者の状況を確認し、本人・家族との関係性の構築、関係機関との連携を行い、意思確認、課題の多面的把握をし、支援しました。

(6) 災害時対策事業

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



災害時の高齢者や障がい者等の避難誘導、災害に関する学習、災害に強い地域づくりのための講習会などを鳥羽市障害者互助会、関係機関・団体と連携して行いました。

また、今年度も市民課、総務課防災危機管理室、鳥羽志生広域連合とでひだまりが被災した際に災害ボランティアセンターの拠点として鳥羽志勢クリーンセンターの活用について視察および検討会議を開催しました。

開催日	事業内容	開催場所
1月29日	災害ボランティアセンター視察	鳥羽志勢クリーンセンター
12月8日	視察後の運用についての話し合い	ひだまり

障害者互助会と連携した防災デイキャンプを開催し、今年度は、防災士の菊池健一先生より講演をしていただきました。

開催日	事業内容	開催場所	参加数
1月7日	「東日本大震災から学ぶ・避難所運営の実態 自助、共助（近所の力）」	ひだまりホール	54名

評価 ゆめぱーるを鳥羽市に譲渡する事になり、被災した場合の災害ボランティアセンター拠点や、BCP上のひだまりが被災した際の社協事業再開場所について検討が必要となりました。3年度より鳥羽志勢クリーンセンターを災害ボランティアセンター拠点として活用する方向性ができましたので、災害ボランティアセンターの運営計画の策定、訓練を引き続き行っていきます。

また、令和5年11月26日に三重県総合防災訓練が鳥羽市で開催されますので災害ボランティアセンター運営訓練を行う予定です。

(7) ほっとスマイルサービス



高齢者や障がい者福祉制度、介護保険制度などが適用されない方や、日常的に何らかの支援、援助が必要な方について、気兼ねなく利用できる会員制の福祉有償ボランティアサービス（ほっとスマイルサービス）を提供しています。

- ・利用会員（サービス利用者） 43名
- ・協力会員（サービス提供者）29名
- ・サービス実績（延べ回数） 1,116回 (単位：回)

外出支援	掃除・洗濯・買い物	ゴミ出し	見守り・話し相手
823	68	89	136

評価 協力会員については、新しい方が増えにくい現状にあります。また、支援についても依然地域格差がありますので、地域格差を埋めていけるように周知を図って行きます。

(8) 地域福祉推進員の設置



地域福祉課題の解決に向けて地域での福祉活動を推進するため、各地へ地域福祉推進員を設置しています。令和4年度は、22地区（31名）で活動しています。

設置地区及び人数 (総計 31名) (単位：人)

相差 (2)	安久志 (1)	今浦 (1)	畔蝮 (2)	岩倉 (1)
船津 (2)	若杉 (2)	大明東 (1)	大里 (1)	白木 (1)
国崎 (1)	石鏡 (1)	答志 (2)	中之郷 (2)	小浜 (1)
答志和具 (2)	屋内 (1)	坂手 (2)	松尾 (1)	菅島 (1)
大明西町 (2)	池上 (1)			

評価 不在地区の町内会長に打診はしましたが、令和4年度は民生委員の改選があったこともあり民生委員の担い手を見つけることすら難しい状態で地域福祉推進員を見つける事は更に難しいとの回答があり、担い手を見つけることは難しい状態が続いております。令和4年度は民生委員が改選時期でもあり、地域福祉推進員の存在を知らない委員がいる可能性もあり、研修会は3回に分け（新任・既存・離島地区）研修を行いきめ細かな対応をいたしました。

(9) 市内福祉事業所の連携の強化

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



鳥羽市地域自立支援協議会については、くらし・相談支援部会においては、障がい福祉事業所部会と合同で年9回、しごと部会は年11回の例会を開催しました。

くらし・相談部会では虐待や防災についての講演会などを開催しました。しごと部会では、市から委託されたひだまりの草刈りを年4回実施しました。3年度に引き続き水福連携事業としての作業にも取り組みました。

介護保険サービス事業者連絡会においては、職員研修会の開催、11月11日には、高齢者介護についての啓発を図るために医療連携の「ピア まちをつなぐもの」映画上映会を開催し、多くの方に映画を見ていただきました。

評価 令和5年度も介護保険、障害者福祉事業所ともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着いてきたので、集合型の研修会を開催し、支援の技術向上に努めます。

(10) 地域福祉講演会の開催

4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



地域共生社会の実現に向けて、地域住民に福祉啓発を行うため、毎年福祉講演会を開催していますが、令和4年度は、地域福祉を担う福祉推進員、民生委員、生活支援員等を対象に心理カウンセラーの松田大亮氏による活動支援のための講演会を開催しました。

開催日	事業内容	開催場所	参加数
3月10日	講演 「相手を不快にさせず信頼されて会話が弾む聴き方の極意」	ひだまりホール	32名

評価 日頃から地域福祉に関わっている方を対象に研修会を開催しました。令和4年度は「傾聴」についての心構えや考え方について学んでいただきました。アンケートには耳と目と心で聴く事が出来るようになりたい等、今後の活動に活かしていきたいという声が寄せられ、ある程度の良い評価を頂きました。市民の方に学んでいただく機会は、重要であるため、今後も地域ニーズよりテーマを選択し開催します。

8 総合相談（心配ごと・無料法律相談等）事業

16 平和と公正を
すべての人に



保健福祉センターにおいて、長寿社会の進展と社会の変化に伴って多様化している悩みごと、生活上の困りごと等に応じるため、民生・児童委員の協力による心配ごと相談や専門的な立場から相談を受けていただくため、司法書士相談や弁護士、公証人による相談等を実施しました。

年度別相談件数 (単位:件)

種 別	30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
暮らし住まい	12	11	11	10	6
家 族	7	10	6	4	5
健康・医療	0	0	0	1	0
法 律	42	52	56	33	33
福祉・教育	0	0	0	2	0
そ の 他	0	0	0	2	4
合 計	61	73	73	52	48

評価 相談件数についてはほぼ例年通りですが、令和3年度から法律相談の対応が三重弁護士会から、楠井法律事務所へ変更となり、より細かな相談ができるようになりました。市内の相談者について今後も支援を行っていきます。令和5年度から、民生委員による心配ごと相談から、地域力強化推進事業による、まるごと相談に代わります。また、公証人相談は公証役場の都合もあり、令和5年度より無くなります。

9 ボランティア活動支援事業

(1) ボランティア団体の育成

ボランティアセンターには、団体、個人合わせて千人余りの方が登録をしています。

高齢者や障がい者に対するボランティア活動のほか、それぞれ自主的な活動を行っています。ボランティア連絡協議会と連携して活動も行っております。4年度のボランティアスクールは、市内のボランティア活動者により深くボランティア活動を知っていただく交流学习の場として開催しました。

ボランティアスクールの開催

ボランティアスクールは、鳥羽市ボランティア連絡協議会との協働事業として毎年開催し、福祉の動向や、要支援者を支援するための心構えを学び、ボランティアを養成する事業として毎年開催しています。

ボランティアスクール活動内容

(単位：人)

開催日	事業内容	講師協力団体	参加者数
7月13日	第1回ボランティアスクール 自分家と違う場所で災害起きたらなっとする？	鳥羽市防災危機管理室	25名
9月2日	第2回ボランティアスクール ゆる体操	伊勢志摩キレイゲンキ塾	29名
10月5日	第3回ボランティアスクール 傾聴ボランティア	特定非営利活動法人	29名
11月7日	第4回ボランティアスクール みんなで開けてみよう！非常持出袋！	鳥羽市防災危機管理室	22名
3月13日	第5回ボランティアスクール 視覚障がいについて学ぼう！	アイパートナー	15名
3月26日	第6回ボランティアスクール ディスカバーウォーク in なかまち		0名

評価 毎年ボランティアスクールを開催していますが、鳥羽市のボランティア連絡協議会とパートナーシップを持ち開催しています。4年度は「コロナだからできない」ではなく、「コロナでもきることをしよう」ということでボラ連と協力しながらボランティアスクールを開催しました。第6回ボランティアスクールは雨で中止となりました。

(2) 市内小・中学校福祉協力校に対する福祉教育推進活動助成、活動支援について

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



福祉協力校の主な活動内容として、令和4年度は一日福祉体験教室を3年ぶりに開催しました。「eスポーツってなあに？」は初めて行う教室でとても人気でした。一般社団法人三重県eスポーツ連合の方にお越しいただき、鳥羽市内の小中学生や民生委員29名が参加され、どの年代でもゲームが出来ることを学び、異世代間交流を楽しむ事ができました。「eスポーツとは？」についての説明後、太鼓の達人とぷよぷよのゲームで対戦し、太鼓の達人の時は皆で手拍子をして盛り上がり、ぷよぷよではお互いのチームを応援しあう事で盛り上がりました。とても楽しかったという感想が多く、アンケートにより、次回対戦したいゲームも聞けて参考になりました。他にも「おこづかいゲーム」「認知症サポーター養成講座」「地震が起きたらどうするの？・体験と楽しい工作」を行いました。「認知症サポーター養成講座」は2名の参加だった為、児童に興味を持っていただける題名にするなど検討の必要があります。「地震が起きたらどうするの？・体験と楽しい工作」は44名の参加で、民生委員やボランティア団体、鳥羽市内の小中学生が災害について学ぶ事ができました。体験では、地震がおきたら机の下へ隠れるための動作訓練や、机の脚をつかむ事、段ボールで椅子を作り、卵の殻をガラスに例え踏んでみたり、新聞紙でスリッパを作り引きずるように歩いたりすることをしました。工作では芳香剤作りを行い、大人も子ども達も一緒に学んで体験し、楽しむ

事ができました。

福祉協力校『フクシル（子ども版福祉いどばた会議）』対応件数、内容（単位：人）

開催日	体験プログラム	学校・協力団体	参加者数
5月31日	あらっこ ボッチャ	安楽島小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	28名
5月18日	かもっこ ボッチャ	加茂小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	50名
6月15日	かもっこ防災タウンウォッチング	加茂小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	53名
8月2日	地球環境を知る活動	岩倉町里山保存の会 社協福祉推進係	10名
9月16日	高齢者疑似体験	加茂中学校 はまゆう会	24名
9月29日	思いやりのかたち	加茂小学校 つのぶえの会	23名
10月7日	点字体験	加茂小学校 日本赤十字社三重県翻訳奉仕団体鳥羽点 訳友の会ぼちぼち	26名
10月14日	合同防災	加茂小中 児童生徒 町内会 老人会	200名
10月25日	スノードーム作り	加茂小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	14名
11月25日	ボッチャ体験	加茂小学校 社協福祉推進係	47名
12月5日	車いすの使い方を伝授します	鳥羽東中学校 安心クリエイト	106名
12月1日	ボッチャ体験	答志中学校 社協福祉推進係	26名
12月6日	ボッチャ体験	鳥羽小学校 社協福祉推進係	69名
12月9日	まちトーク	神島中学校	15名
12月17日	ボッチャ体験	教育委員会 社協福祉推進係	80名
1月8日	にほんのあそび	安楽島小学校 ボランティア 市老連 民生委員 社協職員	48名
3月1日	スノードーム作り	安楽島小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	39名
3月14日	防災タウンウォッチング	菅島小学校 子育て応援！！0、1、2、3サークル	26名
3月23日	ボッチャ体験	加茂小学校 社協福祉推進係	19名

1 日福祉体験教室

開催日	体験プログラム	参加者数
7月25日	eスポーツってなあに？	29名
8月3日	おこづかいゲーム	15名
8月8日	認知症サポーター養成講座	2名
8月22日	地震が起きたらどうするの？・体験と楽しい工作	44名

福祉協力校連絡会議の開催

学校現場における福祉教育の課題、今後取り組みたいこと、福祉教育を進める上での課題や、欲しい情報について話し合う場を提供しています。今年度は、11校の福祉協力

校担当者にお越しいただき、今回は福祉体験教室初めての取り組みでeスポーツを体験する為、一般社団法人三重県eスポーツ連合の方にお越しいただき、担当者にeスポーツとゲームの違いなどの説明をしていただきました。eスポーツはマインドスポーツであり、思考能力を使い競い合うスポーツという事や言葉遣い、楽しむ事を具体的に説明していただきました。

評価 当会は、毎年福祉協力校の先生方との連絡会議を開催しています。今年度は3年ぶりに開催することができました。1日福祉体験教室で初めての試みとなるeスポーツについてeスポーツ協会の方にお越し頂き、ゲームとeスポーツの違いについてレクチャーして頂きました。初めての取り組みでしたが、子ども達には、世代間交流や、ゲームとの付き合い方などを教えていただき、学習効果もありました。

10 民生委員児童委員活動について

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



民生委員児童委員協議会は、一つの基本方針を掲げて活動されました。

「誰ひとり取り残さない人とつながり支えあう地域づくり」を理念に具体的重点事業として、5つの生活圏単位でその地区の民生委員・児童委員並びに主任児童委員が地域に根ざした活動を進めてまいりました。

社会福祉協議会は民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員活動を支援しました。

評価 当会では、民生委員児童委員の協力を得ながら地域福祉の推進を行っています。今年度は民生委員児童委員の改選時期でもあり定数56名で、令和4年11月末までは45名の委員が委嘱されておりましたが、現在は43名の委員になっております。なり手不足に歯止めがかかっておりません。担い手がいない関係で町内会長が兼務する地区が増えつつあります。不在地区には民生委員児童委員の活動について周知が必要です。令和4年度は鳥羽市で全国ニュースになる詐欺の被害が多かった為、鳥羽警察と連携し啓発チラシを市民の方にお渡ししています。また訪問の際には、特殊詐欺の手口についてお話する活動もしております。